

令和5年度 香芝東中学校 1年生 シラバス

生徒のようすや学習の状況などに応じて、進度や内容を変更して実施することがあります。

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
国語 1年	1学期	◇朝のリレー ◇竜 ◇ペンギンの防寒着 ◇活字と手書き文字・画数・筆順 ◇音声のしくみとはたらき ◇クジラの飲み水 ◇文法 ◇部首と成り立ち ◇空中ブランコ乗りのキキ ◇字のない葉書	●詩の表現に着目し、ものの見方を捉える。 ●登場人物の描写や気持ちを読み取る。 ●説明文の基本的な構造を理解する。 ●活字と手書き文字・画数・筆順についての理解を深める。 ●日本語の音節について理解する。 ●文章の展開や筆者の工夫を捉える。 ●ことばの単位・文節の関係を理解する。 ●部首と成り立ちについての理解を深める。 ●登場人物の判断や行動について、自分の考えを持つ。 ●戦争について考える。
	2学期	◇玄関扉 ◇部首と成り立ち ◇月を思う心・竹取物語 ◇故事成語―矛盾 ◇情報を関係づける ◇文法 ◇それだけでいい ◇比喩・倒置・反復・対句 ◇方言と共通語	●文章の要旨をとらえ、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。 ●部首と成り立ちについての理解を深める。 ●古文を音読し、古典の世界にふれる。 ●漢文の書き下し文を学び言葉の起源を知る。 ●資料をもとに、自分の考えをまとめる。 ●接続する語句・指示する語句 ●表現の特徴と効果を学び、詩を書く。 ●表現技法について理解を深める。 ●日本語の特徴について理解を深める。
	3学期	◇少年の日の思い出 ◇漢字の音と訓 ◇トロッコ ◇文法 ◇意味と意図―コミュニケーションを考える	●作品の構成読み取り、自分の考えを持つ。 ●「音」と「訓」を理解する。 ●表現の特徴を捉え主人公の心情を読み取る。 ●単語の類別・品詞 ●文章を要約し、内容をとらえる。
	評価の観点・評価方法		
①授業に意欲的に取り組み、発表している。 ②ノート ③提出物 ④定期テスト ⑤課題テスト・小テスト・聞き取りテスト ⑥スピーチ・暗唱・作文			

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
社会 1年	1学期	地理的分野 ○世界の姿 ○日本の姿 ○世界のさまざまな地域 歴史的分野 ○歴史を捉える見方・考え方 ○人類の誕生と世界の古代文明 ○縄文時代・弥生時代・古墳時代	●世界の地域構成を知り、その位置や特徴を説明できる。 ●日本の位置や広がりの特徴を理解し、世界の国々との関わりを考える。 ●地形や気候などの地域の特徴を読み取り、伝統的な生活や宗教の違いを理解する。 ●時代や年代の読み取り方を理解し、歴史学習の基礎を身につける。 ●世界の古代文明や宗教がおこった地域の特徴をつかみ、その特色を理解する。 ●日本列島に住み始めた人々の生活や社会の成り立ちを理解する。
	2学期	地理的分野 ○アジア州 ○ヨーロッパ州 ○アフリカ州 歴史的分野 ○飛鳥時代・奈良時代 ○平安時代	●アジア州における急速な経済成長の理由や地域に与える影響を考える。 ●ヨーロッパ州における地域統合による変化の様子を考える。 ●アフリカ州の産業や経済の実態から、各国がかかえる課題を考える。 ●律令国家となった日本における社会制度や生活・文化の発展を考える。 ●都の移り変わりやそれに伴う政治の変化を理解する。
	3学期	地理的分野 ○北アメリカ州 ○南アメリカ州 ○オセアニア州 歴史的分野 ○鎌倉時代 ○室町時代 ○戦国時代	●北アメリカ州（特にアメリカ合衆国）の巨大な産業が世界の農業や工業におよぼす影響を考える。 ●南アメリカ州で進む開発と、環境問題の関わりについて考える。 ●オセアニア州の発展による、他の地域との結びつきの変化について考える。 ●武士の台頭から幕府が成立する過程を理解し、武士の支配による民衆の生活の変化について考える。 ●戦乱による社会制度の変化や、産業や文化の発達と特徴を理解する。
	評価の観点・評価方法		
	①授業に意欲的に取り組み、主体的に学びに参加する。 ②時事的な社会事象に関心を持ち、社会の課題や自分自身の生活に学びを生かそうとする態度を持つ。 ③ノート、ワーク、レポートなどの課題に積極的取り組み、期限を守って提出する。 ④定期テスト、課題テスト、小テストなど。		

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
数 学 1 年	1 学 期	1 章 正の数・負の数 1 節 正の数・負の数 2 節 加法と減法 3 節 乗法と除法 4 節 いろいろな計算 2 章 文字の式 1 節 文字を使った式 2 節 文字式の計算 3 節 文字式の利用	1 章 新しい数である負の数や、素数という新しい数の集合を扱い、考察の範囲が広がる。ここで数についての理解を深めさせるとともに、四則計算の習熟を進め、2 章の文字の学習と合わせて数学の学習に必要な素地をつくる。また、具体的な場面で負の数を活用する機会を通して、問題解決に必要な基礎的な力を身につけさせる。 2 章 文字によって事象を表現する方法、文字と式を適切に計算する方法を身につけさせ、数学的に考察を行っていくための土台をつくる。
	2 学 期	3 章 1 次方程式 1 節 1 次方程式 2 節 1 次方程式の利用 4 章 比例と反比例 1 節 比例 2 節 反比例 3 節 比例と反比例の利用 5 章 平面図形 1 節 平面図形 2 節 作図 3 節 円	3 章 文字を使って方程式を作成し、等式の性質を使って方程式を解く方法を習得させる。最終的には、1 次方程式の知識と技能を使って、具体的な問題を解決することを目的とする。 4 章 ともなって変化する 2 つの数量の変化や対応の関係を式や表、グラフなどを通して調べることで、比例や反比例の関係を理解させる。また、日常生活の中から、比例や反比例の関係にある事象を見だし、それらの考察を進め問題を解決することができるようにする。 5 章 直線や角といった平面図形の基礎を理解することから始め、図形の位置を移動の概念によって考察したり、線分の垂直二等分線や角の二等分線、垂線などの基本的な作図のしかたを学習したりする。このことによって、平面図形の中に潜む性質を見だし、それらを利用した考察ができるようにする。
	3 学 期	6 章 空間図形 1 節 空間図形 2 節 立体の体積と表面積 7 章 データの活用 1 節 データの整理とその活用 2 節 確率	6 章 小学生での知識をもとにして、空間図形についての理解を深める。また、求積問題として、おうぎ形の弧の長さや面積、立体の体積や表面積を求める方法を学習する。特に角錐や円錐の体積の求め方や球の体積、表面積の求め方は中学校で初めて学習する内容であり、しっかりと身につけさせておきたい。 7 章 データを分析するために度数分布表やヒストグラムなどについて理解することは重要であるが、整理のしかたを身につけるだけでなく、収集したデータから傾向を読み取ることで不確定な事象について合理的な判断を下す力を養う。
評価の観点・評価方法			
①授業に対して真面目かつ積極的に臨んでいる。(発言・態度) ②ノートをきちんととっている。 ③提出物（ワーク・計算つづり等）をきちんとやって期限を守って提出している。 ④定期テスト ⑤課題テスト			

理 科 I 年		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
	I 学 期	○植物の特徴と分類 ○動物の特徴と分類 ○いろいろな物質とその性質	●種子植物の花のつくりとはたらき、なかまわけについて理解する。 ●動物の特徴となかまわけについて理解する。 ●いろいろな物質の特徴と区別のしかたについて理解する。
	2 学 期	○いろいろな気体とその性質 ○水溶液の性質 ○物質のすがたとその変化 ○光による現象 ○音による現象 ○力による現象	●気体の性質と発生方法を理解する。 ●物質の溶解や溶解度、再結晶について理解する。 ●状態変化や蒸留について理解する。 ●光の反射や屈折、凸レンズのはたらきについて理解する。 ●音が発生するしくみや伝わり方、音の大小・高低について理解する。 ●力のはたらきについて理解する。
	3 学 期	○身近な大地 ○ゆれる大地 ○火をふく大地	●地形や地層のようすから、過去にその土地で起こったことを推測できるようになる。 ●地震のしくみについて理解する。 ●火山や火成岩について理解する。
	評価の観点・評価方法		
		①授業にまじめに取り組んでいる。(発言、態度、積極性、忘れ物など) ②ノートをきちんととっている。 ③提出物をきちんとやって期限を守って提出している。 ④定期テスト ⑤課題テスト・小テスト ⑥実験レポート	

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
英語 1年	1学期	○Unit 0 Welcome to Junior High School ○Unit 1 New School, New Friends ○Unit 2 Our New Teacher	・小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり書き写したりすることができる。 ・自分がふだんよくすることや、できることを伝えることができる。 ・身近な人やものについて紹介したり、たずねたりすることができる。 ・いつ・どこなのかをたずねたり、数をたずねたりすることができる。
	2学期	○Unit 3 Club Activities ○Unit 4 Friends in New Zealand ○Unit 5 A Japanese Summer Festival ○Unit 6 A Speech about My Brother ○Unit 7 My Family	・相手に指示したり、時刻や好きなものをたずねたりすることができる。 ・いった場所や、そこで楽しんだことなどについて話すことができる。 ・自分と相手以外の人やものなどについて、たずねたり伝えたりすることができる。 ・自分と相手以外の人について話したり、どちらなのか、誰のものなのかをたずねたりすることができる。
	3学期	○Unit 8 Sports for Everyone ○Unit 9 Think Globally, Act Locally ○Unit 10 Winter Vacation ○Unit 11 This Year's Memories	・今していることについて説明したり、たずねたりすることができる。 ・したいことや、する必要のあることなどについて説明したり、たずねたりすることができる。 ・過去の出来事について説明したり、たずねたりすることができる。 ・過去の状態や気持ち、過去のある時点にしていたことについて説明することができる。
評価の観点・評価方法			
①授業に意欲的に取り組んでいる。 ②授業中の本文読みやコミュニケーション活動の様子 ③ノート・ワークなどの提出物 ④定期テスト ⑤単語テスト・インタビューテスト・聞き取りテスト ⑥スピーチ・暗唱・作文			

音楽 1年		学習内容	学習のねらい・身につけて欲しい力
	I 学期	○校歌 ○主人は冷たい土の中に ○変声期について ○We'll Find The Way～はるかな道へ～ ○鑑賞：春 ジョーズのテーマ ○器楽演奏：キーボード ○器楽導入：アルトリコーダー	●仲間とともに歌う楽しさや喜びを味わい、音楽活動への意欲を高める。 ●旋律の特徴や強弱の変化に気を付けながら、表現を工夫して演奏する。 ●声の出るしくみと変声期について理解を深める。 ●旋律の重なり方に注目し、互いの声を聴きあって歌う。 ●ソネット(短い詩)を手がかりに、曲の変化を感じ取る。 ●音楽の要素とイメージできたことを関連付けて音楽を味わう。 ●基礎的な奏法・コードを理解し、伴奏付けをおこなう。 ●楽器の特徴を知る。
	2 学期	○歌唱：赤とんぼ 音楽会の課題曲・自由曲 ○鑑賞：魔王 ○器楽：アルトリコーダー	●情景を思い浮かべながら、思いをこめて歌う。 ●声部の役割や全体の響きを感じ取り、表現を工夫しながら心を合わせて歌う。 ●詩の内容や音楽の特徴に気を付けて、場面の様子を想像しながら、音楽のよさや美しさを味わう。 ●正しい奏法を身に付ける。 ●楽器の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身につける。
	3 学期	○歌唱：浜辺の歌 ○鑑賞：六段の調 ○器楽演奏：箏	●仲間といっしょに表現を工夫して、表情豊かに合唱をする。 ●楽器の音色、旋律の特徴、速度の変化などに気を付けながら、箏曲のよさや美しさを味わって聴く。 ●曲想を感じ取り、奏法を工夫することによって豊かな音楽表現を追求する。
	評価の観点・評価方法		
①授業をまじめに取り組んでいる。 (発言、態度、積極性、忘れ物、歌唱、器楽演奏、他者の演奏を聴くなど) ②提出物をきちんとやり、期限を守って提出している。 ③曲をしっかりと聴き、学習内容から自分の考えをまとめる。 ④実技テスト(歌唱・器楽) ⑤定期テスト(筆記、聴き取り試験)			

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
美術 1年	1 学期	○オリエンテーション ○見つめると見えてくるもの (鉛筆について、身の回りにあるものの デッサン) ○絵具による学習 ① 色彩について (三原色、混色、色の3要素など) ② 様々な技法 (にじみ、ぼかし、平塗りなど) ○こころの空 (色彩と技法のまとめ)	身近にあるものの形や質感、明暗、立体感などに着目し、よく観察して鉛筆で立体的に表す。 ●色の基礎知識と感情効果について理解し、身近な事象 をもとにイメージや表し方を広げる。 ●絵具による色の仕組みや多様な描き方について理解し、意図に応じて表現の工夫することができる。 ●色の基礎知識と感情効果について理解し、身近な事象 をもとにイメージや表し方を広げる。 ●主題を基に発想を広げ、印象に残ったことや感じたことを表現し、豊かに創造する力を身に着ける。
	2 学期	○レタリング ○文字デザインの鑑賞 ○分かりやすく伝えるための絵文字の デザイン	●文字の基礎的な形の特徴を理解することができる。 ●表現したい意図に合うように、文字の形や色の構想を練る ●形や色をイメージしながら、表し方を工夫する。
	3 学期	○構成美を生かしたステンドグラス ○マイワールド(BOX アート制作) ○屏風、美のしかけ(鑑賞)	●身の回りにある構成の要素を見出し、構想を練ったり創造的にイメージを広げる ●色の配置の効果や形のバランスなどについて理解する。 ●主題を基に、箱の空間を生かしたモチーフの配置や見せ方などを工夫し、多様な材料を使って意図に応じて豊かに表現の工夫をする。 ●余白とリズム感を感じ取り作者の表したい表現の意図を考えたりしてイメージを広げる。
	評価の観点・評価方法		
① 授業への関心、意欲、主体的に学習に取り組む態度 ② 作品の完成と提出 ③ 期末テスト ④ 作品の発想、構想 ⑤ 作品制作の技能			

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
技術・家庭 1年	前期	○中学生の食生活と栄養 ○日常食の献立と食品の選び方 ○日常食の調理と地域の食生活 ○布を用いた物の製作	●食生活に関心をもち、自分の食習慣を見直す ●栄養素の種類とはたらきを知る ●栄養バランスのよい献立を考える ●生鮮食品の選びかたと旬を知る ●加工食品の特徴と、食品の保存方法を知る ●食品添加物について知る ●基礎的な調理操作ができる ●安全と衛生に留意できるようになる ●食品の調理上の性質について理解する ●地域の食材や食文化について関心をもつ ●ファイルカバーの製作を通して、製作に関する知識や技能を習得する
	後期	◎ガイダンス ○技術分野の学習を始めよう ◎材料と加工 ○材料と加工法 ○製作品の設計・制作 ○材料と加工の技術の活用	●技術の発展の歴史、生活の中の技術、社会の中の技術、環境問題、エネルギー問題、日本の技術などを題材にして、技術を学ぶことの大切さを理解する。 ●キャビネット図、等角図、第三角法で図形がかけれる。 ●木取りやけがきができる。 ●使用する道具や機械の特徴と加工の原理がわかり、使用することができる。
評価の観点・評価方法			
①授業にまじめに取り組んでいる。 ②ノート、プリントをきちんととっている。 ③提出物をきちんとやって、期限を守って提出している。 ④定期テスト ⑥ 作品の製作に着実に取り組み、最後まで丁寧に仕上げる。			

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
保健体育 1年	1学期	○集団行動・体づくり運動 基本姿勢・整列・方向転換 開列・列の増減・補強運動 ○スポーツテスト ○陸上 短距離走(50m走) 走り幅跳び 走り高跳び ○水泳 ○保健1章 健康な生活と病気の予防	●集団行動の基本的な動作を身につける。 ●学校や社会のきまりを守り互いに協力し合う態度を養う。 ●記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 ●基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ●分担した役割を果たそうとする態度を養う。 ●競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を学ぶ。 ●関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫する。 ●基本的な泳法を身につけ、陸上の運動では養えない体力、運動能力を養う。 ●健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解する。 ●健康の保持増進には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを学ぶ。 ●健康の保持増進をするために、正しい判断、行動ができるようにする。●発育・発達の時期やその程度には個人差があることを理解する。 ●思春期に伴う体の変化に対応した適切な行動を養う。
	2学期	○体育大会練習 集合・整列・行進・ラジオ体操 ○柔道 ○器械運動（マット運動） ○保健2章 心身の機能の発達と心の健康	●集合隊形、体操隊形への移動、行進を周りの動きとそろえられるようにする。また、ラジオ体操第二では、運動の順番を覚え正確な体操を行う。 ●日本の伝統的な所作や、礼儀、相手を尊重する態度や公平さを身に着ける。 ●正しい受け身のとりかた、技のかけ方を学び、仲間と勝負する楽しさを味わう。 ●様々な技に積極的に挑戦し、習得する。 ●仲間と助け合い、安全に留意して練習する態度を養う。 ●発育・発達の時期やその程度には個人差があることを理解する。 ●思春期に伴う体の変化に対応した適切な行動を養う。●思春期の男女の生殖機能がどのように発達するか正しい知識を身につける。
	3学期	○長距離走 男子 ○サッカー 女子 ○バスケットボール 保健2章 心身の機能の発達と心の健康	●体力向上とともに、距離に応じた自分のペースを見つけ、目標タイムを目指して走りきる態度を養う。 ●パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技術の習得を行い、簡単なゲームで使うことができる。 ●仲間と協力しながら練習やゲームに取り組む態度を養う。 ●パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技術の習得を行い、簡単なゲームで使うことができる。 ●仲間と協力しながら練習やゲームに取り組む態度を養う。 ●心の働きと発達の仕方を学び、年齢に伴う人との関わり方の変化について理解する。また、心と体の関係性を理解し、心の健康に与える影響やその対処方法について学ぶ。

保 健 体 育 Ⅰ 年	評価の観点・評価方法 ①授業に真面目に取り組んでいるか。（態度・発言）見学者は、授業中見学レポートを書く。 ②みんなで協力している。 ③ノートをきちんととっている。 ④提出物（ワーク・プリント）をきちんとやって期限を守って提出している。 ⑤技能テスト ⑥定期テスト
--------------------------------	--